

令和5年11月1日

令和5年秋の火災予防広報紙

第232号

# まとい



編集 桑名市消防本部予防課  
 発行 桑名防火協会  
 桑名危険物安全協会  
 桑名市大字江場7番地  
 ☎(FAX) 0594-24-0135  
 URL <http://www.kuwabou.info>



長島31 (30m級先端屈折式はしご付消防自動車) 3頁に記事掲載

## 秋の火災予防運動がはじまります

11月9日(木)~11月15日(水)

この運動は、空気が乾燥し火災の発生しやすい時季を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及啓発を図り、火災発生を防止することを目的として全国的に展開されます。

桑名防火協会では、広報事業を通じて、幅広く火災予防運動を実施します。

**令和5年度全国統一防火標語**

**火を消して 不安を消して つなぐ未来**



# 防火ポスター入選作品決定

最優秀作品 成徳中学校2年  
桑名市長賞 山田 琴葉さん



桑名市消防本部では、毎年火災予防啓発事業の一環として、管内小・中学校の児童、生徒を対象に防火ポスターを募集しています。今年度は、58校2096名の皆さんから、令和5年度全国統一防火標語「火を消して 不安を消して つなぐ未来」をテーマに応募頂きました。防火への意識が、明るい未来につながっていることを印象付け、火災予防を訴える優秀作品が集まりました。

審査会は令和5年9月26日(火)桑名市消防本部で行われ86点が入選し、次の皆さんが特別賞に選ばれました。また、最優秀には、成徳中学校2年山田琴葉さんの作品が選ばれ、街頭啓発用防火ポスターとして管内各所の掲示板や事業所等に掲示し、火災予防啓発に活用させていただきます。

市長賞・町長賞の作品



桑名市長賞  
長島北部小学校5年  
三浦 聡一朗さん



いなべ市長賞  
笠間小学校5年  
加藤 結奈さん



いなべ市長賞  
大安中学校2年  
小林 美沙希さん



木曾岬町長賞  
木曾岬小学校6年  
伊藤 大誠さん



木曾岬町長賞  
木曾岬中学校2年  
村田 真衣紗さん



東員町長賞  
神田小学校6年  
土永 彩華さん



東員町長賞  
東員第一中学校2年  
鈴木 陽加里さん

## ◆ 審査会の様子 ◆



## 桑名防火協会長賞

### 【小学校の部】

在良小学校5年 植村 楓さん  
藤原小学校5年 林 杏奈さん  
木曾岬小学校6年 服部 瑚々さん  
城山小学校6年 野村 眞稟さん

### 【中学校の部】

陽和中学校2年 阿部 早花さん  
北勢中学校2年 日比野百花さん  
木曾岬中学校3年 久保 唯花さん  
東員第二中学校1年 森 菜々美さん

## 消防長賞

### 【小学校の部】

大成小学校5年 大鹿 紗和さん  
員弁東小学校5年 吉田 莉菜さん  
木曾岬小学校6年 諸戸あずみさん  
城山小学校6年 知念 優美さん

### 【中学校の部】

光陵中学校2年 山本 佳歩さん  
員弁中学校1年 眞田 兼佑さん  
木曾岬中学校3年 諸戸 心美さん  
東員第一中学校2年 伊藤 星空さん

## ★令和6年防火カレンダー★

特別賞の24点を掲載した、令和6年防火カレンダーを作成しました。ご希望の方は消防本部予防課(24)5279まで

## ★防火ポスター展

入選作品86点は、秋の火災予防運動啓発活動として次の日程で「防火ポスター展」を開催します。

11月7日(火)～19日(日) イオンモール桑名

11月21日(火)～12月3日(日) イオンモール東員

●防火ポスター・防火カレンダー作成協力●

桑名防火協会・桑名危険物安全協会

# 消防通信



## ◎はしご付消防自動車を更新

桑名市消防本部では、令和5年4月13日(水)に30メートル級先端屈折式はしご付消防自動車を更新し、長島木曾岬分署にて運用を開始しました。

新しいはしご付消防自動車は、先端屈折機能、自動収納機能、メモリー機能、垂直水平機能などの最新装備を盛り込んでおり、これまで以上に安全かつ迅速な救助が可能となります。また、緊急消防援助隊の登録を受け、大災害発生時には全国各地に駆け付けます。

今後、最新装備を駆使し、火災の延焼拡大の防止、早期鎮圧及び要救助者の救助救出活動など災害対応力の強化に努め、住民の皆様が安全・安心に暮らせるまちづくりを推進していきます。



先端屈折機能を使用した救助訓練

## 住宅防火消防フェアを開催しました!!

令和5年7月15日(日)イオンモール桑名において、「住宅防火消防フェア」を開催しました。

この催しは、市民の皆さんに対して、火災予防思想の普及と高揚を図り、住宅における火災の発生を防止することを目的として行われました。

当日は、住宅火災の「逃げ遅れゼロ」に向けた当消防本部の3本柱、①住宅用火災警報器の取付け・点検支援(無料) ②住宅防火診断、③住宅防火講習会などの取り組みをお知らせしました。



住宅防火に関するアンケート及び、住宅用火災警報器取付け・点検支援受付・相談

また、消防車両の展示、ミニ防火衣を着て記念撮影、防火・防災用品の展示、災害時の活動を支援するエアートント展示、女性消防団による心肺蘇生法の実演・体験、住宅用火災警報器(取付・点検)支援の受付など様々な展示・体験、また、火災予防啓発活動として、住宅用火災警報器の設置に関するアンケートなど、たくさんのお客様で賑わいました。また、アンケートに答えていただいた方には、記念品をプレゼントいたしました。



消防車両やエアートントの展示

女性消防団による心肺蘇生法の実演



# 防火協会会長就任のへ挨拶

（株）杉山コーポレーション

代表取締役社長 杉山 健太郎



このたび、令和5年度定期総会の役員改選により、第14代会長に就任いたしました（株）杉山コーポレーション

会員の皆さまには、地域の安全・安心のため当協会の活動にご尽力を賜り、心から敬意を表し、深く感謝申し上げます。さて、秋季全国火災予防運動が始まります。全国火災予防運動という名称になったのは、1953年からですが、そのきっかけとなったのは、1927年3月7日に発生した北丹後地震によるものでした。

京都の丹後地方を震源地とするこの地震では、震源地周辺の家屋の70%〜90%が倒壊するほどの甚大な被害が出ました。しかも夕方に発生したため、いたるところで火災が発生し、多くの犠牲者が出てしまいました。

この北丹後地震と火災を教訓として、1930年3月7日に近畿地方で「防火活動」が始まり、同年の12月には関東でも「防火デー」が実施されました。終戦後の1946年に、GHQの指令のもと、東京都で「火災予防運動」が10月21日〜10月27

日の期間実施されました。実はアメリカで1871年10月8日に「シカゴ大火」が発生し、これをきっかけに火災予防運動が行われるようになり、「火災予防週間」が公式に制定されました。日本の火災予防運動はこうしたアメリカの火災予防週間にならって、という経緯があったのです。

その後、1949年に設置された「国家消防庁」とも、「大火撲滅運動」の名称に変わり、この頃から春と秋の年2回実施されるようになり、1953年には「全国火災予防運動」の名称となっており、現在まで続いています。

火災時の被害・災害を未然に防止するには、私たち一人ひとりが日頃から防災の重要性を十分に自覚し、自主的な防火安全活動を積極的に実施することが何よりも大切なことです。この「全国火災予防運動」の期間中に改めて周りを見直し、防火・防災活動について考えるところにも、生活の中で習慣づけてみてはいかがでしょうか。

私事ではございますが私の祖父、父共に歴史ある当防火協会の会長を務めております。私がこの度会長職に就きましたのも何かの縁と胸に刻み、会長という大役に大きな責任と不安を感じておりますが、当協会の目的である「防火思想の普及宣伝」、「防火対象物の火災予防を推進し防火施設の適正を図る」、「産業の発展と住民の福祉に寄与する」等々の実現に向けて、甚だ微力ではございますが、桑名市消防本部をはじめ、役員並びに会員の皆さま方のご協力をいただきながら精一

杯努めて参りますので、よろしくお願いたします。

## 防火協会会員事業所紹介

SWCC(株)

三重事業所長 川久保 誠司



今年4月、昭和電線は社名をあらたにSWCC(株)へ生まれ変わりを、新たな時代への挑戦が始まりました。

「いま、あたらしいことを。いつか、あたりまえになることへの」のパーパスのもと、「信頼」をキーワードとした経営理念に基づき、これまでのインフラや電線だけでなく、新技術で昨日、今日、明日をつないでいきます。

SWCC(株)三重事業所は、1968年に弊社3番目の生産拠点として、いなべ市北勢町にて操業を開始しました。現在では、電線ケーブル・巻線の元となる裸線部門、モーターや変圧器に用いられる製品を作る巻線部門、動力用ケーブルや制御用ケーブルを製造する電線ケーブル部門及びそれらの開発部門で構成され、約400人の従業員が働いています。

当事業所では、数年のうちに必ず発生すると予想される大地震に備えて、また、巻線部門では大量の有機溶剤を使用するため火災のリスクも高く、普段から防火

防災活動には全事業所を挙げて取り組んでいます。

自衛消防隊には18名の隊員がおり、今年6月に、いなべ消防署北分署様で消防隊消火訓練講習を受講いたしました。また、1月の始業式では事業所消防隊出初式での放水披露を恒例行事としていきます。



消火訓練の様子



出初式での放水披露

8月には、消防本部様に「企業防火講習会」を開催していただき、消防指令センターへの「119番通報訓練も交えながら防火管理の知識と意識を養成していただきました。

さらに、遅ればせながらBCPの取り組みも充実させ、緊急時の対策本部を迅速かつ適切に設置する改善などを実施しました。また、生産現場の設備面の防火対策として、被害を最小限化するために巻線部門の設備に、自動消火装置の導入を進めております。



企業防火講習会の様子

今後もお一層、防火防災体制の強化に努めてまいります。